

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

◎ 指示があるまで開かないこと。

| |
|---------------|
| 令和8年2月18日 午前用 |
|---------------|

第77回獣医師国家試験 実地試験問題 (C)

注意事項

1. 問題数は60問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

問1 犬、チワワ、避妊雌、5歳齢。2週間前からふらつくことがあるとの主訴で来院。〔図1〕は院内で記録した心電図である。本症例に対する治療として最も適切なのはどれか。

1. ピモベンダンの投与
2. リドカインの投与
3. アテノロールの投与
4. カテーテルアブレーション
5. ペースメーカー埋め込み術

別冊 C

図 1

問2 〔図2〕の実験動物の系統に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 胸腺が萎縮している。
2. 脾臓やリンパ節におけるリンパ球の減少が認められる。
3. *Nu (Foxn1)* 遺伝子が欠損している。
4. B細胞とNK細胞を欠損している。
5. 異種移植の実験に用いられる。

別冊 C

図 2

問3 〔図3〕のマークが表示された食品に関する記述として適切なのはどれか。

1. 疾病の治療を目的として表記できる。
2. 疾病リスクの低減効果の表示が認められている食品もある。
3. カプセル形状のものは許可されない。
4. 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」によって定められている。
5. マークは事業者の責任において表示できる。

別冊 C
図 3

問4 犬、シー・ズー、避妊雌、8歳齢。数日前から歩き方がおかしいとの主訴で来院。〔表4〕は神経学的検査の結果である。病変部の局在として最も適切なのはどれか。

1. 小脳
2. C1 - C5
3. C6 - T2
4. T3 - L3
5. L4 - S3

別冊 C
表 4

問5 〔図5〕の方法で牛の標本抽出を行った。最初の1頭目の抽出は無作為に選んだ。この標本抽出方法はどれか。

1. 単純無作為抽出
2. 系統無作為抽出
3. 層化無作為抽出
4. 集落無作為抽出
5. 多段階無作為抽出

別冊 C
図 5

問6 〔図6〕は1か月齢の牛の肝臓の臓側面である。矢印で示す構造はどれか。

1. 静脈管の遺残物
2. 臍静脈の遺残物
3. 尿膜管の遺残物
4. 胆嚢管
5. 肝管

別冊 C
図 6

問7 〔図7〕のゲノム構造をもつウイルスによる疾患はどれか。

1. A型肝炎
2. B型肝炎
3. C型肝炎
4. D型肝炎
5. E型肝炎

別冊 C

図 7

問8 犬、雑種、去勢雄、2歳齢。便に血が混じるとの主訴で来院。〔図8〕は採取された糞便の直接鏡検像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. ジアルジア症
2. 瓜実条虫症
3. 鞭虫症
4. トリコモナス症
5. コクシジウム症

別冊 C

図 8

問9 犬、雑種、避妊雌、9歳齢。左大腿部皮膚の結節を主訴に来院。〔図9 - A〕は結節の肉眼像、〔図9 - B,C〕は結節の病理組織像（HE染色）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 皮膚肥満細胞腫
2. 犬皮膚組織球腫
3. 形質細胞腫
4. 組織球性肉腫
5. 上皮向性リンパ腫

別冊 C
図 9 - A, B, C

問10 豚の胃壁に〔図10 - A〕に示す寄生虫を認めた。〔図10 - B〕は同個体の糞便検査で検出された虫卵である。この寄生虫はどれか。

1. 豚鞭虫 (*Trichuris suis*)
2. 剛棘顎口虫 (*Gnathostoma hispidum*)
3. 豚腸結節虫 (*Oesophagostomum dentatum*)
4. 類円豚胃虫 (*Ascarops strongylina*)
5. ドロレス顎口虫 (*Gnathostoma doloresi*)

別冊 C
図 10 - A, B

問11 猫、雑種、去勢雄、9歳齢。半年前から毛が抜けはじめて治らないとの主訴で来院。〔図11 - A〕は本症例の外貌、〔図11 - B,C〕は胸部単純X線像（B：側方像、C：腹背像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 血管肉腫
2. 胸腺腫
3. 中皮腫
4. リンパ腫
5. 肺腺癌

別冊 C
図 11 - A, B, C

問12 〔図12 - A～E〕は環境省レッドリスト2020で絶滅危惧種に指定されている鳥類である。生息を脅かす要因として、マングースやノネコによる捕食が指摘されているのはどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

別冊 C
図 12 - A, B, C, D, E

問13 猫、雑種、去勢雄、10歳齢。瞳孔不同、視覚異常を主訴に来院。眼科検査で右眼の眼圧上昇と虹彩の肥厚を認めた。〔図13 - A,B〕は右眼球の病理組織像(HE染色)である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 猫び慢性虹彩メラノーマ
2. 扁平上皮癌
3. リンパ腫
4. 肉芽腫性ぶどう膜炎
5. 虹彩毛様体腺腫

別冊 C
図 13 - A, B

問14 ウサギ、日本白色種、去勢雄、5歳齢。3日前からなんとなく元気がないとの主訴で来院。〔図14〕は本症例の外貌である。疑われる疾患として適当なのはどれか。

- a 特発性ホルネル症候群
- b 細菌性中耳炎
- c エンセファリトゾーン症
- d 椎間板ヘルニア
- e 特発性てんかん

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 14

問15 〔図 15〕の植物がもつ動物の光感受性を増強する有毒物質はどれか。

1. アコニチン
2. プタキロシド
3. メリアトキシン
4. ヒペリシン
5. グラヤノトキシン

別冊 C

図 15

問16 犬、柴、去勢雄、2歳齢。3日前からの頻尿を主訴に来院。〔図 16〕は尿沈渣の鏡検像（×1,000）である。この結晶に関する記述として適切なのはどれか。

1. 主な成分はカルシウムである。
2. 酸性尿で結晶化する。
3. 細菌感染が原因となる。
4. ダルメシアンで好発する。
5. 食事療法は不適應である。

別冊 C

図 16

問17 牛、黒毛和種、去勢雄、22 か月齢。食欲不振と黄褐色水様下痢便を主訴に診察した。体温 41.0℃、心拍数 72 回/min、呼吸数 26 回/min であった。腹部の膨満はなく、右側第 10～12 肋骨付近の打診で圧痛を認めた。〔表 17〕は初診時の血液検査結果である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 第一胃食滞
2. 第四胃右方捻転
3. 急性肝炎
4. 盲腸捻転
5. 腸重積

別冊 C
表 17

問18 〔図 18〕は「家畜伝染病予防法」に定められたある監視伝染病の我が国における発生頭数を示している。この感染症はどれか。

1. ブルータング
2. 炭疽
3. 伝達性海綿状脳症
4. ヨーネ病
5. アカバネ病

別冊 C
図 18

問19 〔図 19〕は、近年我が国に定着したクモである。このクモに関する記述として適切なのはどれか。

1. 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」の条件付き特定外来生物に指定されている。
2. イネ科植物の葉で巣を作る習性がある。
3. 無許可での飼育や運搬は禁止されている。
4. 主に観賞用に輸入された個体が野外に出て定着した。
5. 殺虫剤に耐性を示す個体の出現が問題となっている。

別冊 C

図 19

問20 犬、ラブラドル・レトリバー、雄、4 か月齢。〔図 20 - A〕は左眼の肉眼像、〔図 20 - B〕は病理組織像（HE 染色）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 霰粒腫
2. 類皮腫
3. 乾性角結膜炎
4. マイボーム腺腫
5. 犬結節性肉芽腫性上強膜炎

別冊 C

図 20 - A, B

問21 〔図 21 - A〕はある食中毒原因菌を食品から分離・同定する手順、〔図 21 - B〕はこの原因菌の選択分離寒天培地上に形成された定型コロニーである。原因菌はどれか。

1. コレラ菌
2. 赤痢菌
3. 腸管出血性大腸菌（O 群血清型 O157）
4. チフス菌
5. 腸炎ビブリオ

別冊 C
図 21 - A, B

問22 ウイルス液の 10 倍階段各希釈液を 4 ウェルの培養細胞に 0.1 mL ずつ接種したところ、〔図 22〕の細胞変性効果（CPE）が観察された。ウイルス液の感染価（TCID₅₀/mL）はどれか。

1. $10^{2.75}$
2. $10^{3.0}$
3. $10^{3.25}$
4. $10^{3.5}$
5. $10^{3.75}$

別冊 C
図 22

問23 サル、ニホンザル、雌、27歳齢。高度消瘦、腹水症、蛋白漏出性腸症、肺炎を呈して斃死し、病理解剖が実施された。〔図23〕は病理解剖時の心臓の肉眼写真である。図から確認できる所見として適当なのはどれか。

1. 心冠部脂肪織の膠様萎縮
2. 線維素性心膜炎
3. 心基底部の腫瘤形成
4. 心筋の褐色萎縮
5. 虎斑心

別冊 C

図 23

問24 〔図24〕はマウスの膣垢（膣スメア）像（ギムザ染色、×400）である。図から確認できる性周期はどれか。

1. 発情前期
2. 発情期
3. 発情後期
4. 発情休止期
5. 妊娠期

別冊 C

図 24

問25 我が国で〔図 25〕の経口ワクチンを野生動物に用いて対策を講じている疾患はどれか。

1. 高病原性鳥インフルエンザ
2. 狂犬病
3. E 型肝炎
4. 豚熱
5. 牛疫

別冊 C
図 25

問26 〔図 26〕は四肢不全麻痺の犬の MRI T2 強調像矢状断像である。主たる責任病変はどこか。

1. 第 1-2 頸椎間
2. 第 2-3 頸椎間
3. 第 3-4 頸椎間
4. 第 4-5 頸椎間
5. 第 5-6 頸椎間

別冊 C
図 26

問27 〔図 27〕は牛の分娩時における胎子の状態を示している。胎位・胎向として正しいのはどれか。

1. 頭位上胎向
2. 頭位下胎向
3. 尾位上胎向
4. 尾位下胎向
5. 尾位側胎向

別冊 C
図 27

問28 〔図 28〕を用いて行う乳の検査に関する記述として適切なのはどれか。

1. レサズリン液を指示薬として使う。
2. 硫酸による前処理が必要である。
3. 乳脂率を測定できる。
4. 生乳や牛乳の新鮮度を判定するための検査である。
5. 規定の温度での測定値に補正する必要がある。

別冊 C
図 28

問29 牛、ホルスタイン種、雌、7歳齢。長期の食欲不振と消瘦を主訴に診察した。聴診では肺音粗雑、心音混濁ならびに心外雑音を聴取した。初診時の血液検査は、白血球数17,440/ μl （うち好中球69%）、血清総タンパク質濃度9.4 mg/dlであった。〔図29〕は右胸壁からの超音波検査像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. ファロー四徴症
2. 拡張型心筋症
3. 創傷性心膜炎
4. 後大静脈血栓症
5. 心室中隔欠損症

別冊 C
図 29

問30 牛、ホルスタイン種、雌、6歳齢。分娩後に〔図30〕のような状態となった。最も疑われる疾患はどれか。

1. 直腸脱
2. 子宮脱
3. 膣脱
4. 胎盤停滞
5. 反転性裂体

別冊 C
図 30

問31 猫に寄生していた〔図 31〕の節足動物に関する記述として適切なのはどれか。

- a *Bartonella henselae* の主要なベクターである。
- b 刺咬によりアレルギー性皮膚炎を引き起こす。
- c 幼虫および成虫ともに吸血する。
- d 繁殖のピークは冬季である。
- e 生息する室内に血糞による黒い染みをつくる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C

図 31

問32 犬、イタリアン・グレーハウンド、避妊雌、8歳齢。皮膚にしこりができたとの主訴で来院。〔図 32〕は病変部の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色、×1,000）である。最も疑われる疾患はどれか。

- 1. 犬皮膚組織球腫
- 2. 悪性黒色腫
- 3. 形質細胞腫
- 4. リンパ腫
- 5. 肥満細胞腫

別冊 C

図 32

問33 豚、LWD種、去勢雄、60日齢。慢性下痢、食欲減退により発育不良を示し、安楽死させた。〔図33-A〕は肝臓の肉眼像、〔図33-B,C〕は病理組織像（B：肝臓、C：結腸）（HE染色）である。最も疑われる起因病原体はどれか。

1. *Escherichia coli*
2. *Entamoeba histolytica*
3. *Haemophilus parasuis*
4. *Lawsonia intracellularis*
5. *Salmonella Choleraesuis*

別冊 C

図 33 - A, B, C

問34 犬、ミニチュア・ピンシャー、雌、9歳齢。食欲不振、多飲多尿および腹囲膨満を主訴に来院した。〔図34-A〕は摘出した子宮の肉眼像、〔図34-B〕は子宮内腔の貯留液、〔図34-C〕は子宮の病変部の病理組織像（HE染色）である。本疾患に関する記述として適切なのはどれか。

- a 子宮内膜過形成と関連がある。
- b 子宮内膜症を併発することがある。
- c 腫瘍細胞が高率に付属リンパ節に転移する。
- d 子宮捻転に続発する。
- e プロジェステロンの影響で子宮内膜は細菌感染への抵抗性が低下する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C

図 34 - A, B, C

問35 牛、黒毛和種、雌、5歳齢。分娩50日後に人工授精を行い、翌日に排卵を確認した。〔図35〕は人工授精7日後の左右卵巣の超音波検査像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 卵胞嚢腫
2. 黄体嚢腫
3. 嚢腫様黄体
4. 黄体遺残
5. 卵巣静止

別冊 C
図 35

問36 〔図36〕の器具を使用する搾乳作業過程はどれか。

1. 乳頭清拭
2. 前搾り
3. 乳頭乾燥
4. デイッピング
5. ティートカップ装着

別冊 C
図 36

問37 〔図 37〕はある感染症に罹患した牛の外貌である。この臨床徴候から除外できる感染症はどれか。

1. リステリア症
2. 牛丘疹性口内炎
3. 牛伝染性鼻気管炎
4. 口蹄疫
5. 水疱性口内炎

別冊 C
図 37

問38 猫、雑種、去勢雄、11 歳齢。3 週間前から食欲が減っているとの主訴で来院。〔図 38 - A〕は症例の口腔内の外貌、〔図 38 - B〕は病変部の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色、×1,000）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 歯肉口内炎
2. 鼻咽頭ポリープ
3. 歯原性嚢胞
4. 扁平上皮癌
5. 線維肉腫

別冊 C
図 38 - A, B

問39 ウサギ血漿を用いた試験で〔図 39〕のような陽性を示す細菌感染症はどれか。

- a 鶏の骨髓炎（へたり病）
- b 犬の膿皮症
- c 馬の腺疫
- d 牛の趾皮膚炎
- e 牛の出血性敗血症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 39

問40 〔図 40〕は 2023 年度における我が国の産業廃棄物の種類別排出量およびその割合である。グラフ中の（ア）および（イ）に該当する産業廃棄物の種類の組合せはどれか。

- | | （ア） | （イ） |
|----|--------|--------|
| 1. | 汚泥 | 動物のふん尿 |
| 2. | 汚泥 | がれき類 |
| 3. | 汚泥 | ばいじん |
| 4. | 動物のふん尿 | 汚泥 |
| 5. | 動物のふん尿 | がれき類 |

別冊 C
図 40

問41 馬、サラブレッド種、去勢雄、10歳齢。1週間前からの左後肢跛行を主訴に診察した。〔図41〕は患肢の単純X線像（A：背-蹠側像、B：蹠外側-背内側斜位像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 蹄骨骨折
2. 蹄葉炎
3. 裂蹄
4. 角壁腫
5. 蹄叉腐爛

別冊 C
図 41 - A, B

問42 犬、雑種、去勢雄、4歳齢。歯が折れているとの主訴で来院。〔図42〕はこの症例の外貌である。本症例および本疾患に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 硬いものを噛んだことが原因となる。
2. 歯髄が露出している。
3. ジステンパーに伴って生じる。
4. 上顎第4前臼歯に生じやすい。
5. 根尖周囲膿瘍を続発する。

別冊 C
図 42

問43 〔図 43〕は犬の大腿骨骨折の模式図である。この骨折の原因となる外力として
適当なのはどれか。

- a 屈曲
- b 軸性圧迫
- c 捻転
- d 牽引
- e 剪断

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 43

問44 〔図 44〕は我が国の河川で捕獲された生物である。この生物が媒介する人獣
共通感染症に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. イノシシが終宿主である。
- 2. 待機宿主を食肉として喫食しても感染する。
- 3. ヒトの症例では呼吸器症状がみられる。
- 4. 調理器具の二次汚染により感染することもある。
- 5. 適切な加熱により感染を防止することができる。

別冊 C
図 44

問45 〔図 45〕は軸状皮弁の模式図である。点線で示す皮弁の支配血管はどれか。

1. 肩甲頸動脈
2. 浅上腕動脈
3. 浅前腹壁動脈
4. 後耳介動脈
5. 胸背動脈

別冊 C

図 45

問46 〔図 46〕は馬の消化管から検出された虫体（ホルマリン浸漬標本）である。
この虫体はどれか。

1. ベネデン条虫 (*Moniezia benedeni*)
2. 拡張条虫 (*Moniezia expansa*)
3. 馬円虫 (*Stongylus equinus*)
4. 大条虫 (*Anoplocephala magna*)
5. 葉状条虫 (*Anoplocephala perfoliata*)

別冊 C

図 46

問47 犬、雑種、去勢雄、10歳齢。散歩中に突然倒れて呼吸が速いとの主訴で来院。身体検査では心音が微弱であった。〔図47 - A,B〕は胸部単純X線像（A：側方像、B：背腹像）、〔図47 - C〕は右胸壁からの超音波検査像である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 胸水貯留
2. 気胸
3. 心膜液貯留
4. 拡張型心筋症
5. 肺葉捻転

別冊 C
図 47 - A, B, C

問48 犬、トイ・プードル、去勢雄、7歳齢。数日前より顎の下が腫れているとの主訴で来院。〔図48 - A〕は症例の外貌、〔図48 - B〕は病変を吸引した内容物の外観である。本症例に対する治療として最も適切なのはどれか。

1. コルチコステロイドの投与
2. 腫脹部位へのドレーンの設置
3. 下顎腺の摘出
4. 耳下腺と下顎腺の摘出
5. 下顎腺と舌下腺の摘出

別冊 C
図 48 - A, B

問49 〔図 49 - A〕はある感染症に罹患した牛の外貌、〔図 49 - B〕は病変部の塗抹標本（ギムザ染色、×1,000）である。本疾患に関する記述として適切なのはどれか。

- a 病原微生物は真菌である。
- b 感染動物は激しい痒みを呈する。
- c 病原微生物はべん毛を有する遊走子を形成する。
- d 疾患の発生は降雨と関連がある。
- e ヒトには感染しない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 49 - A, B

問50 犬、シー・ズー、避妊雌、7歳齢。数か月前から時折吐くとの主訴で来院。〔図 50 - A〕は胃の超音波検査像、〔図 50 - B〕は胃の内視鏡検査像である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

- 1. 胃内異物
- 2. 幽門狭窄
- 3. 噴門部腫瘍
- 4. 胃穿孔
- 5. 胃拡張・捻転

別冊 C
図 50 - A, B

問51 犬、ミニチュア・シュナウザー、去勢雄、9歳齢。咳をするとの主訴で来院。
〔図51 - A〕は胸部X線側方像、〔図51 - B〕は病変部の細針吸引細胞診像
(ライトギムザ染色、×400)である。最も疑われる疾患はどれか。

1. リンパ腫
2. 悪性黒色腫
3. 異所性甲状腺癌
4. 組織球性肉腫
5. 胸腺腫

別冊 C
図 51 - A, B

問52 馬、セルフランセ種、雌、7歳齢。重度の疝痛症状のため開腹手術を実施した。
〔図52〕は手術時の消化管の外貌である。切開部位はどれか。

1. 十二指腸
2. 回腸
3. 盲腸
4. 結腸
5. 直腸

別冊 C
図 52

問53 〔図 53〕の動物に関する記述として適切なのはどれか。

1. 2003 年以降、我が国への輸入が禁止されている。
2. 特定外来生物として飼養が禁止されている。
3. 環境省によって保護増殖事業計画が策定されている。
4. 我が国で *Yersinia pestis* 感染が流行した事例がある。
5. 中東呼吸器症候群（MERS）の自然宿主である。

別冊 C

図 53

問54 〔図 54〕はてんかん発作が認められた犬の頭部 MRI 検査正中矢状断像（A：T1 強調像、B：T2 強調像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 髄膜腫
2. クモ膜嚢胞
3. 壊死性髄膜脳炎
4. 下垂体巨大腺腫
5. 水頭症

別冊 C

図 54 - A, B

問55 〔図 55〕は牛の難産時に使用する産科器具である。この器具を用いる疾患として適切なのはどれか。

1. 子宮脱
2. 尿膜水腫
3. 胎子浸漬
4. 子宮捻転
5. 気腫胎

別冊 C
図 55

問56 猫、雑種、雌、5歳齢。交通事故後に歩けなくなったとの主訴で来院。〔図 56〕は骨盤の単純 X 線像（A：側方像、B：腹背像）である。整復法として最も適切なのはどれか。

1. キャスト包帯法（ギプス包帯法）
2. ラグスクリュウ法
3. 創外固定法
4. プレート固定法
5. インターロッキングネイル法

別冊 C
図 56 - A, B

問57 地域内の分娩後の搾乳牛を対象に2019年から2022年にかけて、ケトーシスの発生状況を調査した。〔表57〕はその解析結果である。有意水準を0.05とした場合、ケトーシスの累積発生率と統計学的に有意な関連があった要因はどれか。

1. 調査年および季節
2. 季節およびBCS
3. 調査年および産次
4. BCS および産次
5. 季節および産次

| |
|----------------------------|
| 別冊 C 表 57 |
|----------------------------|

問58 〔図58〕はある監視伝染病の病原体が宿主に感染してから発症するまでの過程を説明したものである。この感染症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 我が国では本病の患畜と診断された場合、淘汰される。
- b ELISAによる抗体検出は感染初期の検査法として有用である。
- c 2001年以降、我が国では本病の患畜とされた頭数は毎年50頭程度である。
- d 生菌ワクチンが感染予防に有効である。
- e 我が国では5年ごとに搾乳牛と種雄牛において全頭検査を実施している。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

| |
|----------------------------|
| 別冊 C 図 58 |
|----------------------------|

問59 〔図 59〕のうち、牛や馬の去勢に用いる器具はどれか。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

別冊 C
図 59

問60 〔図 60〕は鼻炎徴候を示す猫でイオヘキソールを用いて血管造影を行った CT 検査横断像（A：造影前、B：造影後）である。所見として最も適切なのはどれか。

- 1. 歯根部に骨吸収像を認める。
- 2. 硝子体の白濁を認める。
- 3. 副鼻腔内のガス貯留を認める。
- 4. 右眼窩内に腫瘤を認める。
- 5. 下顎骨に骨増生像を認める。

別冊 C
図 60 - A, B

